

没後20年 | 特別展

星野道夫の旅

Michio Hoshino

アラスカの自然と動物、そこで暮らす人々をこよなく愛した写真家の、仕事と心の回顧展。



氷の世界に生きる
ホッキョクグマの親子
撮影：星野道夫

2016年9月15日(木)→26日(月)

大阪高島屋7階グランドホール

ご入場時間＝午前10時～午後7時30分(8時閉場)。ただし9月16日(金)
17日(土)18日(日)・9月23日(金)24日(土)25日(日)は午後8時まで
(8時30分閉場)。最終日9月26日(月)は午後4時30分まで(5時閉場)。

入場料(税込)＝一般800円(600円)、大学・高校生600円(400円)、中学生以下無料

※()内は前売り及び10名様以上の団体割引料金。※価格は消費税を含む総額にて表示しております。

※「障害者手帳」をご提示いただいたご本人様、ならびに、ご同伴者1名様まで入場無料とさせていただきます。

主催＝朝日新聞社 特別協力＝星野道夫事務所
協力＝富士フィルムイメージングシステムズ株式会社

 **Takashimaya** OSAKA
www.takashimaya.co.jp
TEL(06)6631-1101

没後20年
特別展

星野道夫の旅

Michio Hoshino

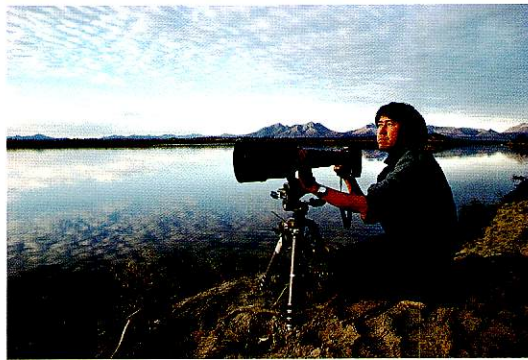
アラスカに魅せられ、かの地を棲家にして、壮大な自然の世界を描写した、たくいまれな写真家・星野道夫(1952~1996年)。彼がカムチャツカの地で、取材中に不慮の死を遂げてから2016年8月で20年となりますが、残された多くの写真や文章は、いまだに多くの人々の心を魅了し続けています。その一部は小・中・高校の教科書にもとりあげられています。

本展では星野道夫が駆け抜けた、幾多の道をひもとく未発表作を含むおよそ250点の写真をはじめ、自筆の文章や手紙、撮影に使用したカメラなどを展示するとともに、彼が愛用したカヤック、スノーシュー、毛皮のパーカー(アノラック)を展示。アラスカの大自然と動物たち、そこで暮らす人々をこよなく愛した写真家・星野道夫の仕事、そして彼の心の内面を伝える没後20年の回顧展です。

イントロダクション

アラスカとの出会い

星野道夫がアラスカへ行くきっかけとなった写真集「ALASKA」と、シシュマレフの村長宛てに出した手紙などを展示。



カリブーの移動を待つ
星野道夫

大いなるアラスカ

生涯のテーマとなった「自然」「動物」「神話」。これらを生涯のマスターピースによって一望。そのスケールの大きさ、クオリティの高さを、迫力の写真で味わっていただけます。



夜空に舞うオーロラと
満月

生命のつながり

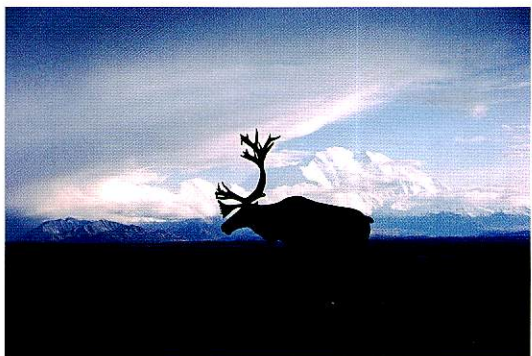
アラスカの大自然、動物、それらとともにある人々の生活など、生き生きとした暮らしの営みを感じられる写真を展示。



タテゴトアザラシの
赤ちゃん

神話の世界

神話の世界や悠久の歴史など、目に見えないものを感じさせるような写真を中心に。星野道夫が最後まで取り組んだネイティブのこころ・たましいを支えたワタリガラスの神話なども紹介。



秋のツンドラに佇む
カリブー

星野道夫の部屋

星野道夫の生涯と自然写真家の仕事とはいったいどういうものなのかを伝えます。星野氏のセルフポートレートを展示しながら、撮影に使用した機材などを展示。



倒木に腰かける星野道夫



撮影に使用した
カヤック

写真全て 撮影:星野道夫

ギャラリートークのご案内

9月15日(木) 午前11時・午後2時 星野直子氏(星野道夫事務所 代表)

 **Takashimaya** OSAKA
www.takashimaya.co.jp
TEL(06)6631-1101

没後20年
特別展

星野道夫の旅

Michio Hoshino

2016年

9月15日(木)→26日(月)

大阪高島屋7階グランドホール

ご入場時間＝午前10時～午後7時30分(8時閉場)。
ただし9月16日(金)17日(土)18日(日)・9月23日(金)
24日(土)25日(日)は午後8時まで(8時30分閉場)。
最終日9月26日(月)は午後4時30分まで(5時閉場)。

主催＝朝日新聞社 特別協力＝星野道夫事務所
協力＝富士フィルムイメージングシステムズ株式会社

 **Takashimaya** OSAKA



アラスカの自然と動物、そこで暮らす人々をこよなく愛した写真家の、仕事と心の回顧展。

アラスカに魅せられ、かの地を棲家にして、壮大な自然の世界を描写した、たぐいまれな写真家・星野道夫（1952～1996年）。彼がカムチャツカの地で、取材中に不慮の死を遂げてから2016年8月で20年となりますが、残された多くの写真や文章は、いまだに多くの人々の心を魅了し続けています。その一部は小・中・高校の教科書にもとりあげられています。

本展では星野道夫が駆け抜けた、幾多の道をひもとく未発表作を含むおよそ250点の写真をはじめ、自筆の文章や手紙、撮影に使用したカメラなどを展示するとともに、彼が愛用したカヤック、スノーシュー、毛皮のパーカー（アノラック）を展示。アラスカの大自然と動物たち、そこで暮らす人々をこよなく愛した写真家・星野道夫の仕事、そして彼の心の内面を伝える没後20年の回顧展です。

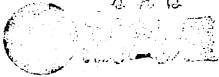
【表面】氷の世界に生きるホッキョクグマの親子
撮影：星野道夫

大阪高島屋

〒542-8510 大阪市中央区難波5丁目1番5号
TEL(06)6631-1101

銀 行 証

な ん ば



TEL (06) 6631-1101

2016-

09-21

01

★800内

★800 小計

38内税

★800 計

★1000 現

★200 釣

000-5799

12-26